

- 4月 1日(水) 児童自立生活援助事業 自立援助ホームいっぽ運営継続(児童7名)
- 6月 1日(月) 朝日新聞厚生文化事業団「進学応援生相談窓口開設」(業務委託・相談員2名)
- 6月28日(日) 13:00～ 令和2年度総会(会場/なごやかサポートみらい事務所101)
- 7月21日(火) 19:00～ 第1回理事会(ZOOM)
- 9月 未定 19:00～ 第2回理事会(ZOOM)
- 9月27日(日) 13:00～ オンライン進学応援セミナー
～社会的養護から進学を目指す人たちへ～
- 10月 未定 なごやかサポートみらい主催 講演会
居場所を見つけた子供たち 虐待を生き抜いて(日時、会場/未定)
- 11月 未定 19:00～ 第3回理事会(ZOOM)
- 12月12日(土) 13:00～ 学習会事業 わくわく集会・忘年会(会場/未定)

2021年

- 1月 未定 19:00～ 第4回理事会(ZOOM)
- 2月・3月 記念品贈呈事業(みらい募金を活用)
- 3月 未定 19:00～ 第5回理事会(ZOOM)

★みらい募金へのご協力をお願い致します!★

年度末には施設や里親家庭等を巣立って、就職・進学する子どもたちへ当法人から記念品を贈呈する事業を行う予定です。



【お振込先】
三菱東京UFJ銀行 黒川支店
普通口座 0126496
特定非営利活動法人なごやかサポートみらい
理事長 蛭沢 光
トクヒ)ナゴヤカサポートミライ
リジチョウ エビスワ アキラ

皆様からのあたたかい気持ちをお願い致します。

自立援助ホーム いっぽで必要としている物が「児童福祉の架け橋」いっぽの詳細ページにて掲載されています。引っ越しをおこなったため、現在不足しているものが色々あります。定期的に更新しておりますので、ぜひ見て頂けると嬉しいです。

<https://jidoufukushi.jp/jiritu-ippo/>



★ご支援を頂いた皆さま★

・安田訓明さま
・上田幸子さま
ありがとうございました。
(順不同)

7月20日現在会員数
正会員36名・準会員14名 計50名



特定非営利活動法人
なごやかサポートみらい

〒462-0058
愛知県名古屋市中区西志賀町5丁目13番地の1
TEL (052) 718-7188
E-mail info@nagoyakamirai.com
http://www.nagoyakamirai.com

○●特定非営利活動法人 なごやかサポートみらい●○



〒462-0058
愛知県名古屋市中区西志賀町5丁目13番地の1
TEL (052)718-7188
E-mail info@nagoyakamirai.com
http://www.nagoyakamirai.com

—みらい通信No.42 2020年8月1日(土)発行—

みらい通信は、当会の活動を会員さんや関係者の
方々に知っていただくために作成し、お送りいたします。

発行者 蛭沢 光



前期の活動報告

2020年04月～

- 6月 1日(月) 朝日新聞厚生文化事業団「進学応援生相談窓口開設」(業務委託・相談員2名)
- 6月28日(日) 令和2年度総会(会場/なごやかサポートみらい事務所101)

自立援助ホーム いっぽの活動報告 新しい施設と体制で子ども達をバックアップ!

自立援助ホームいっぽの近況報告をさせていただきます。

①「2020年3月21日に施設移転をしました。」

これまで男子6名定員で運営をしておりましたが、新しく建物では定員を増やすことができました。令和2年4月からは7名に増え、来年には増室工事があります。最大定員は9名。いっぽは開所当時よりほぼ満所状態が続いており、新しい入所打診があった時には部屋に空きがないため、断るしかありません。その度にスタッフ一同もどかしい思いをしてました。一人でも多くの子どもたちの居場所を作りたいという理由から定員数を増やせる場所に移転いたしました。

②「コロナウィルスの影響があっても粘り強くバイトを探していました。」

4月からは新しい子どもの入居も決まり、7名での生活がはじまりました。コロナの影響でアルバイトが決まらない子もいましたが、諦めることなく粘り強く動いていた子はアルバイトに合格することができました。いっぽにきてから初めてバイトをする子は「実際にアルバイトをやってみて働くことの大変さがよく分かった。それまでは週5日、働くことが自分には余裕だと思っていた。でも、難しいことだと分かった。だからこそ、給料が入った時はめっちゃ嬉しかった。アルバイトで自分のできる作業が増えていくことも嬉しい。」と話してくれました。引き続きアルバイトを続けていってほしいですね。

③「進学希望の子たちに思うこと」

現在、いっぽでは来年の4月から大学と専門学校へ進学することを目指している子がいます。近年、給付型の奨学金は増えておりますが自立援助ホームの入所児童を対象とする奨学金は児童養護施設や里親から進学する児童よりも少ないです。そのため、給付型の奨学金がとれなければ、貸付を受けて進学するのか、就職するのかの選択を迫られます。貸付の借金を抱えての進学はお金の管理が苦手な子たちにとって、金銭的リスクを増やしてしまうので難しい問題があります。そのため、進学希望の子たちには給付型の奨学金で応募できるものがあれば全てチャレンジしますが、給付型の奨学金をとる事と同じくらい大切な「お金を管理できる習慣を作ること」も大切にしています。実際は支払うべきお金を残さずに自分の欲しいものを買って、携帯の課金をしてしまい、コンビニでの買い食いをしてしまっています。

最後に、アルバイトを続けること、お金の管理ができることなど。子どもたちが自分で「できること」に変わっていくには、あの手この手で工夫する試行錯誤の日々です。いつか子どもたちにも想いが伝わるように粘り強く関わっていきます。

自立援助ホームいっぽ ホーム長 青木 佑磨



6月14日にみんなでスポッチャ行った時の様子です。思いっきり動き回りました。



子どもの数:6名/職員数:13名/ボランティア数:4名/支援の会会員数:22名/協力雇用主:7社(7月20日現在)

喜多一憲氏を偲んで



喜多先生あの優しい笑顔と声が無いのは本当に寂しく思います。

喜多先生とは学生時代からのご縁になります。学生時代から本当にたくさんのことを教えて頂きました。また当団体発足当時から役員として応援して頂きました。いつも親身になって話を聞いて下さるのがとても印象的でした。この場を借りて心から感謝申し上げます。喜多先生がいつもお会いする度に「えびちゃん頑張ってるな！」と声をかけて下さったことが本当に本当に嬉しくて、今でも

忘れられません。それと何度かお酒をご一緒したことも。当事者活動を初心に戻って頑張りますので、どうか見守ってください。本当にありがとうございました。

感謝の気持ちを込めて。

なごやかサポートみらい 理事長 蛭沢 光

朝日新聞厚生文化事業団「進学応援生相談窓口の開設」について

朝日新聞厚生文化事業団様と共に社会的養護から進学した方々の支援をしていこうという話になり、ラインを活用した相談業務を担うことになりました。名称は「応援ライン」になります。私も相談員の一人になります。当事者として、支援者として様々な相談に応じ、共に考えていけたらと思います。

なごやかサポートみらい 理事長 蛭沢 光

蛭沢理事長より声をかけていただき、朝日新聞厚生文化事業団の奨学金を受けている学生たちの相談担当をさせていただくことになりました。学業だけでなく、日々の生活のことや将来のことなど、様々な不安を抱えている応援生たちにとって、いつでも気軽に、何でも相談できるような存在になれたらと思っています。

水野 梨沙

朝日新聞厚生文化事業団様からのメッセージ

このたびは、当事業団の進学応援金事業における新しい取り組みである「応援ライン」に、多大なるご協力をいただくこととなりまして、改めまして御礼申し上げます。本事業は、当事業団の進学応援金(奨学金)を受けている学生のみなさん限定の取り組みで、生活に関する悩みや困りごとを一人で抱え込まずに、誰かに相談できることで、迷うことなく暮らしていけることを願っています。今後も温かいアドバイスをお願いいたします。

朝日新聞厚生文化事業団 宮前 賢さん

「みらい」さんには、いつもご協力いただき感謝ばかりです。

応援金を贈っている学生さんは全国に約90人います。つまりいた時、苦しい時に、蛭沢さんや水野さんに話を聞いてもらい、また前を向いて歩いていく。応援Lineがこうした「居場所」になって欲しいと思います。学生さんが、先輩の姿をモデルとして、自分の未来を描く力にしてくれたらとも願っています。

よろしくお願いいたします！

朝日新聞厚生文化事業団 中村 宣人さん

令和2年度の役員紹介

理事長の蛭沢光です。引き続きよろしくお願いいたします。息子はもう2歳になり、元気モリモリです。私も日々、父親として奮闘しています。下記は私のホームページになります。ぜひご覧くださいね。

<https://www.akiraebisawa.com>

今年度は相談対応をメインに活動していきます。ご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

理事長 蛭沢 光



今年度より副理事長に就任させていただきました青木佑磨です。普段は自立援助ホームいっぽのホーム長として働いております。いっぽを出てからも子どもたちは困難なことばかりです。色んなサポートが必要だと感じます。そこで私だけでできることばかりではないので、ぜひとも皆様と力を合わせて、問題の解決を目指していきたいです。ご協力よろしくお願いいたします。

副理事長 青木 佑磨



こんにちは、理事の外山です。新型コロナウイルスの影響で、今年度の総会は少人数での開催になりました。みらいの事業をどのように行っていくか、これから役員全員で知恵を絞って考えていきたいと思っています。引き続きよろしくお願いいたします。

理事 外山 玲那



今期も理事をさせて頂く、小野です。本業がデザイン会社ということもあり、みらい通信の発行、チラシ作成、ホームページの更新等をお手伝いしています。養護から社会に出ていく子ども達の厳しい現状をサポートしたいと考えています。

理事 小野 裕司



理事の藤田です。コロナ禍で活動が制限される中「みらい」は社会的養護当事者や支援者、会員の皆様が気軽に集える場所として形を変えながら活動を続けております。微力ながら、これからもその活動に協力させて頂きたいと思っています。

理事 藤田 哲也



新たに理事に就任しました金澤と申します。昨年までは監事でしたが、今年からは理事として関わらせていただきたいと思っています。困難の多い時代ですが、皆さん共に乗り越えていけたらと考えております。よろしくお願いいたします。

理事 金澤 亜矢



コロナ禍にある今だからこそ、社会的養護のケアリーパーたちが社会の中でいかに厳しいハンデを背負っているのかがわかります。みらいの活動にご支援くださっている皆さまのお力や温かいお気持ち、より多くの子もたちに届くよう願っています。

監事 川上 知幸



新型コロナウイルスが流行している今年、改めて日頃のあたりまえがいかに脆いものかを実感しています。今年は特に、みらいに関わる皆さまと皆さまの大切な方々の心身のご健康をなにより願いながら、活動していきたい…と思っています。

監事 谷口 純世



相談役 関戸 敏夫

よろしくお願いいたします！